

経営比較分析表（令和3年度決算）

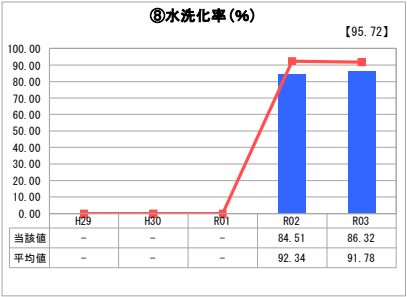
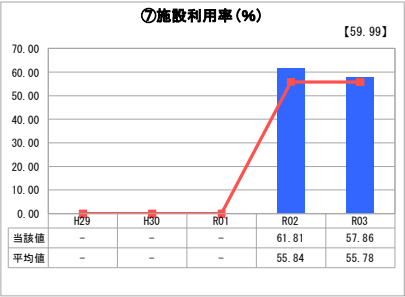
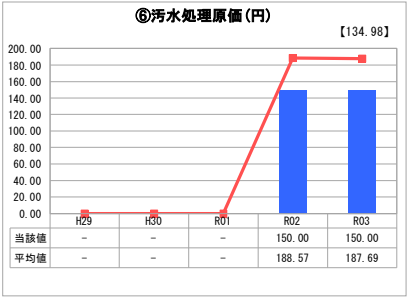
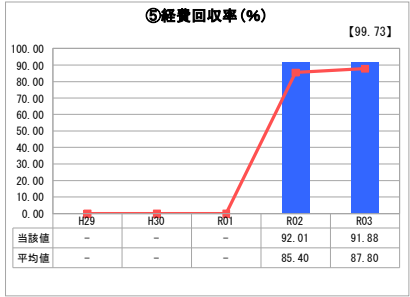
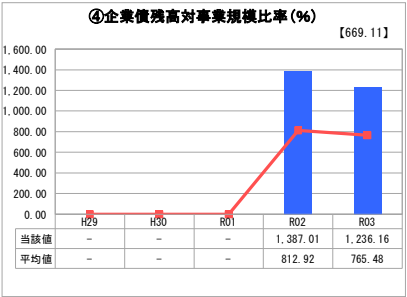
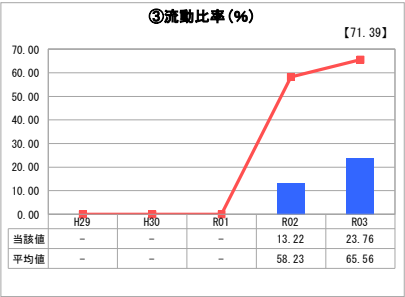
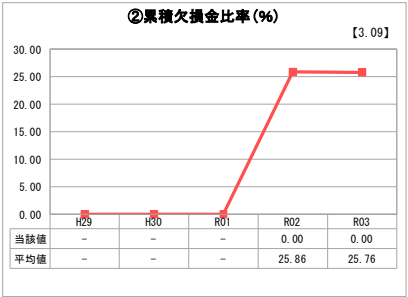
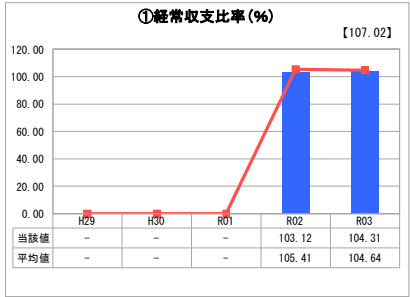
福島県 相馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	63.96	53.16	69.94	2,860

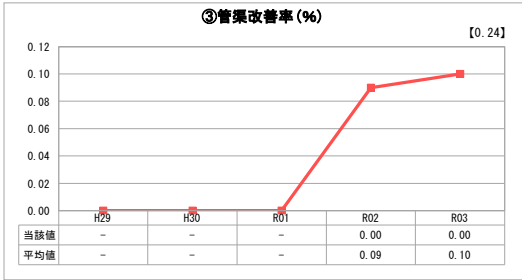
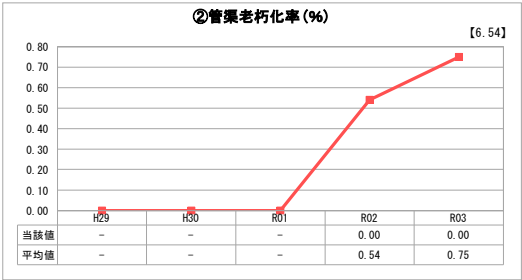
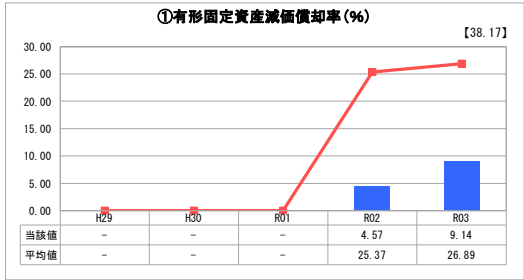
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,831	197.79	171.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
17,845	7.92	2,253.16

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業法の財務適用を行った。

①経常収支比率(%)は、単年度収支が100%を超え、一定程度の健全性を確保している。

⑤使用料で回収すべき経費を賄えているかを示す経費回収率は約92%であったが、100%以上であることが必要であることをふまえると、污水处理費のさらなる削減を行う必要がある。

また①と⑤の結果から、経費が使用料以外の収入で賄われていることを意味しており、適正な使用料収入の確保が必要である。

③流動比率は、昨年度の数値を上回ったものの、類似団体と比較しても低く、「1年以内で現金が出来る資産が1年以内に支払う負債を賄えていない」状況を改善するため、支払い能力を高めるための経営改善を図っていく予定である。

⑥污水处理原価は、類似団体との比較ではコストが抑えられているものの、今後も現状分析を行い、効率的な污水处理を継続していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均よりも低い比率となっているものの、供用開始が30年を経過している管渠施設もあるため、重要度の高い施設から順次点検・調査を実施し、ストックマネジメント計画に基づき、改築・更新などを今後の計画的に行っていく予定である。

水洗化率は徐々に増加しているものの、類似団体平均より低い率となっている。引き続き水洗化率向上への取り組みを行う予定である。

全体総括

今後とも、資産の長寿命化や污水处理費の削減に取り組む、維持管理費の適正化や財源確保のため、コスト意識を持ちながら経営改善に取り組む予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。